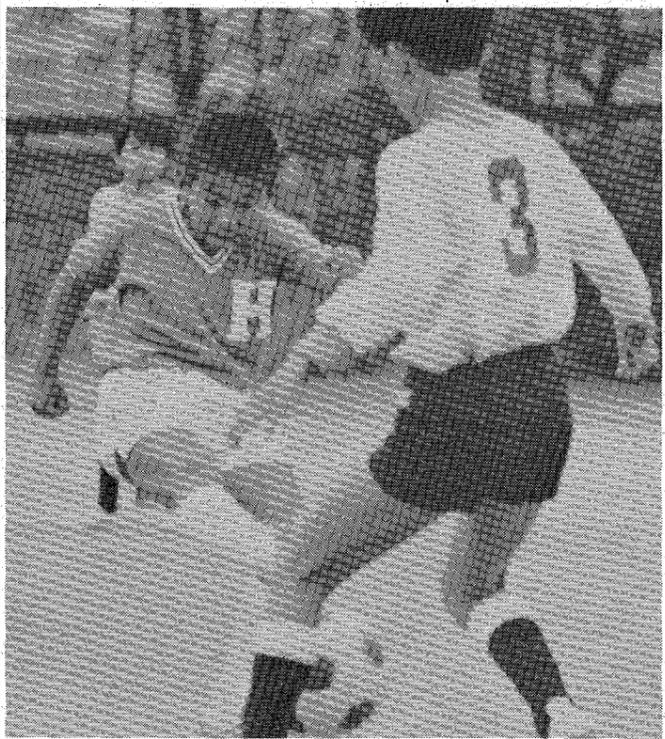


秋空のもと熱戦続く

神戸市少年リーグ 順位争い激しい1部リーグ

神戸市少年リーグはさわやかな秋晴れのもと、少年たちの元気なプレーがくりひろげられている。1部（小学男子6年生年齢以下）は9月3日に後期が始まり、前期リーグ戦の

成績によりA、Bの2つのブロックに分かれているが、Aブロックでは神戸FC・Aがトップ。Bブロックでは東灘Aと蓮池Aがはしく争っており、これからの対戦が見もの。



A、Bブロックの1位同士の勝者が1部の優勝チームとなるが、その試合は12月30日、天皇杯全日本選手権準決勝の前座として、神戸中央球技場で行われることになっている。2部（小学男子4年生年齢以下）は後期がスタートしたばかりで、まだ数試合しか消化されていない。3部（女子小学生）は前、後期の区別がなく、シーズンを通して試合が行われているが男の子に負けないハッスルぶり。

また、後期から和田岬男女、多井畑B、灘の4チームが参加した。シーズン途中から加わったため、成績には関係のないオープンゲームとしてサッカーを楽しんでいる。

今年から新しくとり入れた少年審判員制度は評判がよい。少年審判員も多く試合を担当し慣れてきたが、より正しい審判ができる

ようにと、全審判員が11月5日板宿小に集まって、オフサイドルールを中心に審判技術の研修会が開かれた。

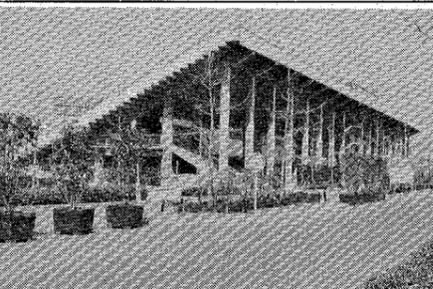


試合結果速報

【9月3日】①蓮池A 4-0 板宿 【9月4日】①神戸FC・A 6-0 御影A 【9月10日】①蓮池A 14-0 蓮池B、①鶴越B 1-0 千歳A、①多井畑2-2 板宿A、③蓮池A 2-0 高倉台B、①垂水SS 2-2 北須磨 【9月11日】①箕谷A 4-0 成徳A、③箕谷5-0 渦森、①北須磨11-1 鶴越B、③高倉台A 1-1 神陵台、①多井畑1-0 神陵台A 【9月15日】①名倉A 5（キケン）0 神戸FC・B、①東灘B 1-1 室内、③蓮池A 3-0 神陵台、③ひよどり台2-0 高倉台 【9月17日】①名倉A 1-1 箕谷A、①桜宮3-0 千歳B 【9月18日】①鶴越A 2-1 丸山B、①桜宮4-0 神陵台B、①北五葉6-0 高倉台B、①ひよどり台A 5（キケン）0 神戸YMCA・A、①御影B 1-1 千歳B、①御影A 0-0 東灘B、【9月23日】①成徳B 3-0 神陵台B、①東灘A 10-0 神陵台A、①丸山A 7-0 渦森、③高倉台4-0 蓮池B、③蓮池A 1-0 高倉台A 【9月24日】③桜宮12-0 蓮池B、③北五葉1-1 高倉台B 【9月25日】①高倉台A 3-1 神戸SS、①室内1-1 鶴越A、①高倉台C 12-1 神戸YMCA・A

【10月2日】①垂水SS 2-0 鶴越B、③ひよどり台1-1 蓮池B、②鶴越C 3-0 ひよどり台B 【10月9日】①鶴越A 2-1 御影A、①東灘B 2-0 丸山B、①東灘A 8-0 蓮池B、③多井畑2-0 蓮池B、①箕谷6-0 神戸SS 【10月10日】①御影A 3-0 丸山B、①丸山A 2-0 北須磨、①東灘A 10-0 板宿A、②神戸FC・C 3-1 東灘C、③渦森2-0 ひよどり台、①渦森2-0 垂水SS、②鶴越C 2-0 神戸FC・D、①成徳B 1-0 桜宮、③神陵台2-0 高倉台B、③高倉台A 6-0 蓮池B、①神陵台A 7-0 蓮池B 【10月15日】①成徳A 5（キケン）0 神戸FC・B、①神戸FC・A 2-0 室内、③桜宮1-1 蓮池A 【10月16日】①渦森0-0 千歳A、①御影B 2-0 神陵台B、③箕谷1-0 神陵台、③多井畑2-1 ひよどり台、①蓮池A 1-1 神陵台A、①神戸FC・A 3-0 鶴越A

- ①：1部（小学6年生年齢以下）
- ②：2部（小学4年生年齢以下）
- ③：3部（女子小学生）



神戸中央球技場だより

11月13日（日）
天皇杯全日本選手権関西大会 12:00
11月20日（日）
天皇杯全日本選手権関西大会 12:00
11月21日（月）
全国高校選手権兵庫県予選 準決勝 13:20
11月23日（祝）
兵庫県中学校選手権大会決勝 10:00
全国高校選手権兵庫県予選 決勝 12:20
12月18日（日）
西日本OB大会 09:00
12月30日（金）
天皇杯全日本選手権決勝大会 準決勝 14:00
2面に関連記事

兵庫一めざし混戦模様

兵庫県中学校選手権大会 神戸からは鷹匠ら7校

第11回兵庫県中学校選手権大会は11月6日開幕、11月23日決勝の日程で、神戸中央球技場など県下8会場で行われる。出場は地域予選を勝ち抜いた32チーム。中学兵庫一をかけた好試合の連続が期待できる。

大会は優勝候補のいない混戦模様になりそうだ。11月になると3年生が受験のため退部し、大幅な戦力の変化がみられる。兵庫県中学総体で優勝した鷹匠も3年生がごっそり抜けたため、苦戦は免れない。上位進出がねらえるチームは3年生が最後までがんばる御津（姫路）、緑ヶ丘（北播）それに激戦区神戸の代表の7チームあたりか。

兵庫県中学校選手権神戸市予選結果

Aブロック			
布引	キケン	3	西神戸朝鮮
西神戸朝鮮	垂水東灘	5	0
Bブロック			
鈴蘭台	2	0	東神戸朝鮮
滝川	0	0	
歌敷山	0	5	
東神戸朝鮮	6		

Cブロック			
高倉	3	8	高倉
六甲	2		
太田	1	1	
本山	0		
Dブロック			
順位	チーム	上須福	
1	上野	○	○
2	須佐野	○	○
3	福田	●	●
Eブロック			
順位	チーム	鷹丸有	
1	鷹成	○	○
2	丸山	●	○
3	有馬	●	●
Fブロック			
順位	チーム	神本垂	
1	神大付	○	○
2	本庄	●	○
3	垂水	●	●
Gブロック			
順位	チーム	魚御玉	
1	魚崎	○	○
2	御影	○	○
3	玉津	●	●

個人講読のご案内

弊紙を個人で講読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12
加藤 正信 ☎078 (861) 3100
なお、数人分をまとめて申し込まれる場合は、郵送料の割引がありますのでご連絡ください。

1977 11月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市北区有野台7丁目16-6
〒651-13 ☎(078)981-5867
発行人および編集人 加藤正信
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部20円



葎台区に栄冠



神戸市総会 体育大会

高校の部は御影工

第26回神戸市総合体育大会（神戸市教育委員会、神戸市体育協会、神戸市各区体育協会主催）サッカー競技は9月から10月にかけて熱戦が展開され、社会人の部は葎台区代表の葎合クラブが川重発本を下して初優勝を飾った。また、高校の部は、個人技にすぐれた御影工が実力を発揮し、昨年優勝の長田に雪辱を果たした。

身の選手。これらの優秀な選手の加入で、今年は一挙にレベルがアップし、予想どおり勝ち進んだ。しかし、クラブチームに共通した悩みにもれず、葎合もふだんの練習には頭を痛めている。メンバーの勤務先が阪神間に広がっているため、試合以外に顔を合わせる機会は少ないが、学生時代にきびしく鍛えられているだけに、個人プレー、チームプレーともに確かな技術を見せてくれる。

一方の川重発本は全員のチームワークで盛りあげ、準優勝に食いこんだのはりっぱ。決勝戦では、はつらつとしたプレーで葎合クラブに挑戦したがわずかに及ばなかった。

高校の部 高校の部の出場資格は1、2年生の選手に限られており、来年度の戦力を占う意味で興味もたれた。

葎合クラブは葎合高校のOBが母体となつてつくられたチームだが、チームの中心となる福田、小林、宮崎らはいずれも48年度の全国高校選手権で3位に入賞した関西大倉高出

するサッカーに、1年生が忠実に動きまわる。高校生らしく、見ている気持ちのよいチームのひとつだ。準決勝の神戸戦で終盤、一挙に3点をあげた執念はみごとだった。神戸は高浜ひとりに頼りすぎる感がある。来年度は苦しいチーム編成になることが予想されるが、目には見えない伝統の力で毎年、秋から冬にかけて急成長をみせる選手があらわれるものだ。センターバックの門上も成長株のひとりで、じっくり見守ってきたい。

このほかで目立ったチームとしては六甲、兵庫工、東灘あたり。六甲はFWに足のはやい1年生がツートップの形をとり、準決勝で御影工に善戦したのも、2人の活躍に負うところが大きかった。

社会人の部 結果

兵庫区 (兵庫区選抜)	2				
長田区 (神戸かつおぶし)	3	1			
北区 (神戸北OB)	1	3			1
生田区 (神戸市役所)	0	3			
垂水区 (川重発本)	2				
灘区 (神戸FC代表)	2				
葎台区 (葎合クラブ)	4	1			5
東灘区 (マックエルフ)	6				
須磨区 (滝川OB)	0				

3位決定戦
マックエルフ 4-2 神戸かつおぶし

高校の部 結果

私神港	0					
六甲	6	6				
神戸甲北	3	0				
市神工	0	0				
育英	1	2				
須磨	4	1				
兵庫	1	1				
赤塚山	PK	1				
滝川	3	1				
舞子	0	1				
市神港	0	4				
御影工	19	4				
兵庫商	3	1				
神戸西	9	0				
星陵	3					

優勝 御影工

優勝した新人の補強が成功した葎合クラブ





神戸で準決勝 12月30日

天皇杯全日本選手権決勝大会

神戸で準決勝が行われるのは恒例になっており、天皇杯をみてから帰省へいそぐ人も多い。今年は神戸で国際試合がなく、また日本リーグもわずかに2試合が行われただけで、サッカー好きの神戸のファンには少しものたりないシーズンだった。天皇杯は11月、全国9地域で決勝大会出場を決める予選が行われており、決勝大会の組み合わせは12月上旬に発表されるが、順当にいけば準決勝は日本リーグのチーム同士の対戦になるのはまちがいのないところ。主管の

写真は近藤信行氏提供

神戸市協会では、例年どおり前売り券(一般)をお求めの方に限り、同伴女性お一人の入場を無料にするなど皆さまのご期待にこたえ、ご来場をお待ちしています。なお、来年度(53年)は日本協会の年間行事の都合によって、準決勝は神戸で行われないことになっている。詳細については12月号でお知らせする予定

二宮氏が受賞

日本サッカー協会功労者賞
五大都市体育大会功労者賞
兵庫県体育協会功労者賞

兵庫サッカー協会参加の二宮運次氏(57)にさきごろ日本サッカー協会功労者賞、五大都市体育大会功労者賞、兵庫県体育協会功労者賞(順不同)が贈られた。同氏の長年にわたる功績が高く評価されたものである。二宮氏は立教大学時代に全日本代表に選ばれて大活躍した名プレーヤーのひとり。昭和27年に神戸に帰り、兵庫蹴球協会(現サッカー協会)常任理事につき、技術、審判委員会の中心メンバーとして協会の運営に参加した。また、国体や都市対抗大会の監督としても出場、特に40年の岐阜国体では準優勝するなど輝かしい成績をおさめている。

二宮氏は同時に、国際審判員としてアジア大会の東京大会、オリンピック東京大会に参加の経験を持ち、後輩の指導にも熱心だった。41年から45年までは兵庫サッカー協会理事長に就任し、天皇杯全日本選手権や全国高校選手権大会の開催にあたるなど、サッカーの普及、発展に多大な功績があった。

神戸市社会人リーグ運営会議

11月17日(木)

12月15日(木) 1月19日(木) 2月16日(木)
3月16日(木)

本紙は次のところにもあります

- 関正スポーツ**
生田区下山手通6丁目65 ☎078(371)0857
兵庫県庁300m西側
- 灘スポーツ**
灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側
- ヤマダスポーツ**
葦合区熊内通6丁目3 ☎078(241)9317
雲中小学校前
- 塩谷スポーツ**
兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南
- MEN'S SHOP MAC**
三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュショップ ☎078(391)0896
トリアロード店 ☎078(575)7688
神戸・新開地店

上位進出ならず

青森国体出場の少年、教員チーム

52年度青森国体サッカー競技に兵庫県からは少年と教員の2チームが参加した。少年チームは鳥取を下したあと2回戦で茨城代表に0-1で惜敗。また、優勝候補の一角にあげられていた教員チームも1回戦で福井代表に敗れた。

来年からは新方式で

兵庫高校選抜監督 佃幹夫

今年のチームは昨年と比べてレベルは高くなかったが、7月から9月にかけて行われた延べ40日間にわたるきびしい練習で、粘りのあるチームに育った。強力なストライカーの不在と、中盤の組み立てができないため攻めに、もひとつ厚みを欠いた。8月中旬15人の選手を決定したあと、チームの軸となる鍋島、G.Kの塚塚、スーパー岡村らが負傷し、苦しいチームづくりを強いられたが、和をもって全員が最後までがんばってくれた。特に森井がめきめきと力をつけたくましく成長した。

▷1回戦

兵庫 3 (1-0) 0 鳥取

▷2回戦

兵庫 0 (0-1) 1 茨城

兵庫は1回戦で鳥取を3-0で一蹴(しゆう)し、2日目の茨城戦に全力を尽くした。小柄ながらゴール前のせりあいに耐え、前半は五分にわたる試合を展開したが、混戦からゴールを決められた。茨城は古河一中から古河一高に進んだ選手が主力をしめ、180センチクラスのFW4人を突き出した攻撃と、HBの押しあげは強力な空中戦の不利はまぬがれない。I点先取されたあと、兵庫は石川が中距離のFKを直接ねらい、矢のようなシュートをねらった。が、惜しくもポストをかすり抜け、ゴールを割ることができない。しかし、このプレーが反撃の糸口となり茨城ゴールを

攻めたてるが、分厚い守りの前にどうしても得点することができなかった。

常に全国トップレベルの力を身につけるためには、きびしい練習に耐えなければならないが、来年度からはチーム編成をこれまでより早めて、年度の初めにはスタートを切りたい。3カ月の短期間の強化では、どうしても限界を感じることもある。同時に、1年生を主体としたジュニアの兵庫代表チームをつくり、2年計画で育成する構想をもっている。これらについては、関係者やコーチ陣の協力を得て具体的に動き出す考えである。

調整に失敗

兵庫教員団部長 一北四郎

教員の部では優勝の呼び声が高かった埼玉、山梨などが相次いで1、2回戦で姿を消した。わが兵庫教員もひそかに優勝をねらって青森へ乗り込んだが、あえなく1回戦で福井に敗れた。

瀬川、菊岡が抜けてベストメンバーが編成できない事情もあったが、それでもなんとか上位入賞をねらえるだけの準備を進めていた。事実、地元の青森でも兵庫を優勝候補にあげる声も聞かれた。

試合は前半10分、関根からの縦パスを受けた山田仁が柴田へつなぎ、まず1点。15分にミスから同点に追いつかれたが、すかさず関根がロングシュートを決め突き離す。後半までも同点にされたあとリズムが乱れ、延長に入っても無得点のまま引き分けた。そのあとPK戦が行われたが、6人目のキッカーがはずして無念の涙をのんだ。

今大会では試合の2日前の夜半に宿舎入りしたが、長旅の疲れがとれないで調整が十分でなかった点が敗因のひとつにあげられる。それに、団体に出場するメンバーは日ごろの試合でもある程度固定化して、どんな状態でも安定した力が出せるよう準備しなければならないことを痛感した。

ベスト4決まる

兵庫県社会人中央大会

市役所、マックFCユース、葦合 決勝リーグで激突

52年度兵庫県社会人中央大会は9月25日開幕し、10月23日ベスト4が決定した。まず、県下各地域の代表25チームが4組に分かれて予選リーグを争い、各組の1、2位が決まったあとベスト4決定戦が行われたが、上位4チームはすべて神戸市の代表が独占。

神戸市役所はここ数年、不本意な成績が続いていたが、かつてのチーム力をよび戻そう

と高見監督以下チームが一丸となって取り組んでいる。平均年齢は約26歳と決して若くないが、週2回王子のトラックで鍛えた体カトレニングが実を結んだといえよう。神戸FCユースは高校生主体のチームで、予選リーグでも強豪・葦合クラブを3-1で破るなどボールコントロールをはじめとする個人技は、参加25チームの中でも最もすぐれていた。

マックエルフと葦合クラブは予選トーナメントで一度敗れたが、敗者復活戦で試合巧者

予選トーナメント

A組	
鳴尾クラブ	0
マックエルフ	3
住金機工	1
市立伊丹OB	0
神戸市役所A	4
香寺FC	4
西脇クラブ	1
5	0
B組	
西淡クラブ	3
神戸製鋼加古川	2
神戸ライオン	4
三菱電機赤穂	0
神戸製鋼神戸	1
竹谷クラブ	3
5	3
C組	
神大同好会	0
崩生クラブ	1
葦合クラブ	6
武庫川同好会	1
神戸FCユース	6
日本ハム	3
3	4
D組	
神戸製鋼久保	0
市西クラブ	PK ②
双和FC	2
A Y M C	3
スワローFC	4
中央ホンダ	2
3	2



な練習でベスト入りした神戸市役所学生時代の経験者は少ないが、熱心

古河が県リーグ制覇

兵庫県社会人リーグ

52年度兵庫県社会人リーグは最終日の10月16日、古河金属が神戸FCを下し、勝ち点21で初優勝を決めた。後期は廃部となった川崎製鉄を除く6チームの間で行われ、前期をトップで折り返した古河金属がそのまま逃げき

った。なお、古河金属、神戸FC、日本触媒の上位3チームは11月下旬、関西社会人リーグとの入れ替え戦に挑戦するチームを決める関西社会人大会に出場する。

- ▷順位 ①古河金属 10勝1敗1分 勝ち点21
②神戸FC 7勝2敗3分 17 ③日本触媒 5勝4敗3分 13 ④川崎重工 5勝4敗3分 13
⑤三木FC 2勝8敗2分 6 ⑥ユニオン・ロマンチカ 2勝8敗2分 (3、4位と5、6位は得失点差による)

しかし、ベテランの復帰により次第に勝ち星を重ね4位を獲得した。今年も電々近畿と大日電線が最後まで優勝争いの火花を散らし、また全国社会人選手権に出場できるあと2つの「切符」をめざして激しい戦いが展開された。

全国社会人大会へ上位4チーム出場

全国社会人選手権大会が11月26日から30日まで開かれるが、今年の会場は大阪。関西からは関西リーグの上位4チーム電々近畿、大日電線、兵庫教員、新日鉄が出場する。この大会の優勝と準優勝チームは日本リーグ2部との入れ替え戦に出場する資格が得られる。電々と大日は3年ぶりの日本リーグ復帰をねらっており、また兵庫教員、新日鉄にも大いに期待がもてる。

電々近畿が優勝

関西社会人リーグ

52年度関西社会人リーグは10月16日、全日程を終了し電々近畿が優勝した。日本リーグ2部から降格した昨年は練習不足もあって4位に甘んじたが、今年は気力が満ちたプレーをみせ優勝は予想どおり。同じ日本リーグ2部から落ちた大日日本電線も激しくトップを争ったが、得失点差でわずかに及ばなかった。清田、大石の引退が大きく響いているようだ。

兵庫勢は3-5位

これらに続いて、兵庫勢の3チームが3、4、5位を占めた。兵庫教員は関根の得点力に加えて永浜、瀬川らの補強で戦力がアップし、昨年と同じ3位を確保。上位2チームには勝てなかったが、下位チームからは着実に勝ち点をかせぎ、安定した地力をつけてきた。一昨年度リーグ優勝を果たした三菱神戸は、その後継者の補強がないうえに古賀、浜田らの退部が影響して6勝5敗4分けの5位。また、新日鉄は若返りをはかってシーズンにのぞんだが、開幕当初は苦しい試合の連続だった。

順位	チーム	電々近畿	大日電線	兵庫教員	新日鉄	三菱重工	湯浅電池	大阪教員	和歌山教員	近江クラブ	勝点	得失点差
1	電々近畿	1-2	3-2	1-1	1-1	3-1	1-1	4-1	0-0	4-1	25	24
2	大日日本電線	2-1	0-0	3-1	2-1	1-0	1-1	5-0	6-1	2-1	25	19
3	兵庫教員	2-3	0-2	0-0	0-2	4-3	2-1	3-0	0-1	4-1	18	11
4	新日鉄広畑	1-1	2-1	0-0	0-0	0-0	2-0	3-8	1-1	3-1	18	3
5	三菱重工神戸	1-1	0-1	2-0	0-0	0-0	1-1	0-1	3-0	2-2	17	13
6	湯浅電池	1-3	1-0	3-4	0-2	1-1	0-0	3-2	2-2	5-1	16	1
7	大阪教員	1-1	1-1	1-2	8-3	1-0	2-3	0-0	1-2	4-1	14	1
8	和歌山教員	1-4	1-2	0-3	1-1	1-4	1-5	0-0	0-0	7-0	8	-24
9	近江クラブ	1-4	1-2	1-4	1-3	2-2	1-5	1-4	6-3	0-2	3	-48